

VI. 平成29年度 ベルキンダー 事業計画

中期事業計画

10ヵ年基本方針

保護者と地域の人々から信頼され、愛され続けるこども園をめざす。

中期ビジョン

幼保一元化のメリットを活かしベルキンダー独自の『質の高い幼児教育と保育活動』を確立する。

中期戦略

堺市の待機児解消が進む中、堺市全域の公立保育所が平成29年度より認定こども園へと移行し、ますます園児獲得に苦慮する現状がある。園児・保護者・地域の子育て家庭を大切にし、寄り添う事で、一步一步確かな子育て支援の輪を広げる。

平成29年度 事業計画

1. 平成29年度基本戦略

チームワークで実践する安心・安定・安全な教育・保育

2. 重点活動事項

(1) 利用者獲得

園児数 166名 (定員の119%)

一時預かり事業 450名以上/年

休日保育事業 350名以上/年 をめざす。

質の高い教育・保育の提供と地域への丁寧な子育て支援をPRすることで、

選ばれるこども園となり安定した経営を進める。

(2) 質の向上

平成 30 年度より改訂となる、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の周知をはかる研修を実施する。

- ア) インクルーシブ教育・保育の推進をはかり、障がいの有無・愛着形成に課題のある児、誰もが仲間と共に育ち合える環境づくりをめざしそれを実践する保育教諭自身も教育・保育活動を通して人間力に磨きをかける。
- イ) リスクマネジメントの強化をはかり、事故予防・緊急時対応力を向上させる。

(3) 組織人材

- ア) 主任・リーダーは保育教諭への助言・指導や人材育成の役割に加え、他の関係機関との連絡・調整の役割が担えるよう、外部研修への受講を支援し園全体の質の向上をはかる。
- イ) 職員一人ひとりが主体となり、生き活きと教育・保育活動が展開出来るよう、園内行事・委員会等での運営に参画していく。

(4) 連携

- ア) 堺区の子育ち支援者会議（民生委員・主任児童委員・家庭児童相談員・社会福祉協議会・保健センター・公立民間こども園）と協働し、地域に開かれた子育て拠点づくりを進め、堺区の子育てネットワークを牽引していく。
- イ) 生涯の学びの根幹『学びに向かう力』は、乳幼児期に育つ事を再確認し、学校教員と連携を持ち、小学校への接続カリキュラムを作成する。